



2023年度 奈良県陸上競技選手権大会

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2023年 日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。
本大会は、WRKの対象大会ではない。

2 練習場及び練習について

- (1) 大会当日の練習は、補助競技場を使用すること。朝の本競技場での練習は、9時15分までとする。なお、投てき物及びメディスンボールなどを使用する練習、トーイングチューブなどを利用する練習は、競技場周辺も含めて禁止する。また、雷管を使用したスタート練習も禁止する。
- (2) フィールド競技の本競技場での練習は、招集完了後から競技開始までの間に、競技役員の指示に従って実施する。

3 招集について

- (1) 招集所は、メインスタンド2F裏通路・北側に設ける。
- (2) 招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内に持ち込まないこと。
- (4) 招集の手順
 - ① 競技者は、招集開始時刻までに招集所で、競技者係の確認を受ける。トラック種目出場者で、腰ナンバーカードが競技者係から配布された場合は、右腰のやや後方につけること。
 - ② 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ③ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻までに所定の「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備) その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
 - ④ 混成競技の招集については、第1日目・第2日目とも第一種目については招集所で通常通り行う。それ以降の種目については、トラック競技は競技開始10分前、フィールド競技は競技開始30分前に現地で行う。
 - ⑤ 招集完了時刻を確認を受けていない競技者は、当該種目については棄権とみなして処理する。
- (5) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに、「欠場届」を提出すること。(用紙は招集所に準備)
- (6) リレー種目について
 - ① 「オーダー用紙」は、招集完了時刻の60分前までに招集所へ提出すること。オーダー用紙の提出がない場合は、当該種目を欠場するものとみなし処理する。(用紙は招集所に準備)
 - ② リレーに用いるマーカーは、出場チームで準備し、使用後は責任を持って取り除くこと。
- (7) 招集所からスタートライン・跳躍場・投てき場へは、各自で移動すること。

4 競技進行について

- (1) 番組編成及びラウンドの通過について
 - ① トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載左側に示された番号順とする。なお、トラック競技の決勝進出者及びレーン順については、番組編成員が競技規則に従い公平に抽選して決定し、招集所の番組編成板で発表する。
 - ② トラック競技における次の決勝への進出者について
 - (ア) 決勝進出者を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。

・レーンに余裕がある場合	同タイム(1/1000秒単位)の選手の出場を認める。
・レーンに余裕がない場合	本人または代理人により抽選する。
- (2) 競技について
 - ① 当該種目出場競技者以外は競技場内に立ち入ることはできない。
 - ② 競技用靴のスパイクの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。いずれの場合も本数は、11本以内とする
 - ③ アスリートビブスは配布された大きさのままで、ユニフォームの胸部と背部つけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、背部または胸部だけでもよい。
 - ④ 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (3) 10000mは、男子40分00秒・女子45分00秒、5000mWは、男子30分00秒・女子35分00秒で終了する。



2023年度 奈良県陸上競技選手権大会

(4) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
男子 走高跳	1m80 2m00	1m85	1m90	1m95	1m98	2m01	2m04	2m07	2m10	以降3cmずつ上げる
女子 走高跳	1m40 1m60	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	1m70	以降3cmずつ上げる
男子 棒高跳	3m80 4m50 5m00	3m90 4m60	4m00 4m70	4m10 4m75	4m20 4m80	4m30 4m85	4m40 4m90	4m50 4m95	4m60 5m00	以降5cmずつ上げる
女子 棒高跳	2m80 3m50 4m00	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	以降5cmずつ上げる

※走高跳・棒高跳については、優勝が決まり最後の1名になれば、バーを上げる高さまたは、バーの上げ幅は審判員または審判長と相談の上、その競技者が決定することができる(残っている競技者が2名以上でも、全員の同意があれば大会記録等を超える高さにバーを上げることができる)

ただし、オープンの選手についてはこの限りではない(上記通りのバーの上げ方で競技を進行する)

(5) 混成競技の走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、現地にて確認しておこなう。

(6) 三段跳の踏切板は、男子：12m00、女子：9m00・10m00に設置する。

(7) 他都道府県登録者は、トラック種目はオープン競技のみ。フィールド種目は(高さを競う種目以外)は、3回の試技のみとする。

(8) 高校男子「砲丸投・円盤投・ハンマー投」、少B男子「円盤投」は、3回目までの記録上位8名によるトップ8方式を採用し実施する。

(9) 競技中に起きた競技者の行為又は順位などに関する抗議は、競技規則146条に基づいておこなうこと。

(注) 競技用シューズに関するルールについて

ワールドアスレティックス(以下「WA」という)による WA規則第143条(テクニカルルール第5条=TR5)が適用されるため、規定外のシューズでの参加は認めない。(発覚した場合は失格扱い)

5 競技用具について

(1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。

(2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。ただし、検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。検査時刻は、競技開始時刻の60分前までとし、南用器具庫(フィニッシュ地点横)で行う。競技中に破損が生じても主催者は一切の責任は負わない。

(3) フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したものを2個まで、サークルからの投てき種目では1個、置くことができる。個人の所有物は使用できない。走高跳の競技者は、各自でマーカー(粘着テープ、2箇所まで)を用意し使用してもよい。

(4) リレー競技のマーカーは各チームで準備し、レース終了後必ず撤収すること。

6 個人情報の取り扱いについて

(1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、個人情報を取り扱う。また、取得した個人情報、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

(2) 大会の映像・写真・記事・記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム、新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

7 一般的注意事項

(1) 記録は、記録結果速報(ネット上)を確認すること。

(2) 競技者の入退場は競技場のゲートから行い、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。

(3) 正面玄関からの出入りは禁止する。

(4) 競技中に起こった疾病・傷害については、本部の医務室で応急処置は行うが、以後の責任は一切負わない。

(5) ゴミ等は各自で持ち帰ること。駅・競技場周辺のゴミ箱等には絶対放置しないこと。

(6) 貴重品、荷物等は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。

(7) 「記録証明書」を希望する競技者は、代金300円を添えて本部記録係まで申し出ること。

(8) マイクロバス、大型バスで来場される場合は競技場に連絡すること。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い

会場には、アルコール消毒液の準備はしますが、「うがい・手洗い」などの感染防止対策を徹底してください。